

## (10)九州



九州地域では、景気は緩やかに持ち直している。

- ・ 鉱工業生産は弱含んでいる。
- ・ 個人消費は持ち直している。
- ・ 雇用情勢は厳しい状況にあるものの、持ち直している。

(注) 下線を付した箇所は、前回からの変更のあった箇所を表す(↑は上方に変更、↓は下方に変更)。

### 前回調査からの主要変更点

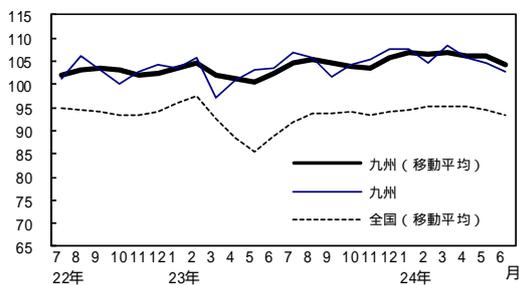
|       | 前回(平成24年5月) | 今回(平成24年8月) |  |
|-------|-------------|-------------|--|
| 鉱工業生産 | 持ち直しの動き     | 弱含み         |  |
| 個人消費  | 持ち直しの動き     | 持ち直し        |  |
| 住宅建設  | 大幅に増加       | 増加          |  |
| 雇用情勢  | 持ち直しの動き     | 持ち直し        |  |

### 1. 生産及び企業動向

#### (1) 鉱工業生産は弱含んでいる。

電子部品・デバイスは、タイ洪水の代替生産の剥落によりモス型計数回路を中心に減少した。輸送機械は、人気車種の増産が続くも前期と比較すると減少した。一般機械は、スマートフォン向けの半導体製造装置や制御数値ロボットの生産が低迷しているため減少した。化学は、トラブルで操業を停止していたプラントが復旧したためエチレンを中心に増加した。

鉱工業生産指数



域内主要業種の動向(季節調整値、前期比) (%)

|           | 付加価値<br>ウェイト | 生産        |           | 出荷        | 在庫        |
|-----------|--------------|-----------|-----------|-----------|-----------|
|           |              | 1~3<br>月期 | 4~6<br>月期 | 4~6<br>月期 | 4~6<br>月期 |
| 電子部品・デバイス | 15.6         | 20.1      | 4.0       | 4.2       | 2.2       |
| 輸送機械      | 15.4         | 2.9       | 1.4       | 0.8       | 28.5      |
| 食料品・たばこ   | 10.6         | 1.7       | 1.0       | 1.6       | 3.0       |
| 一般機械      | 10.6         | 6.5       | 9.0       | 13.2      | 29.6      |
| 化学        | 8.2          | 2.4       | 1.2       | 7.5       | 1.2       |
| 鉱工業       | 100.0        | 1.3       | 2.5       | 3.1       | 0.6       |

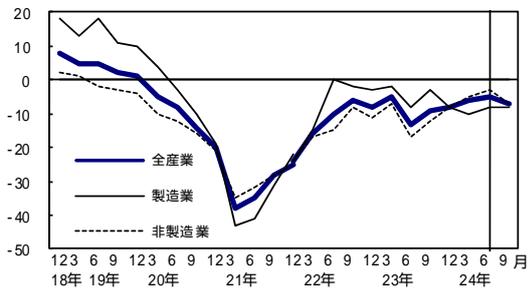
(備考) 1. 17年=100、季節調整値。九州の最新月は速報値。  
2. 全国及び九州の大線は後方3か月移動平均。

(備考) 1. 地域における付加価値ウェイトの高い15業種。  
2. 4~6月期は速報値。

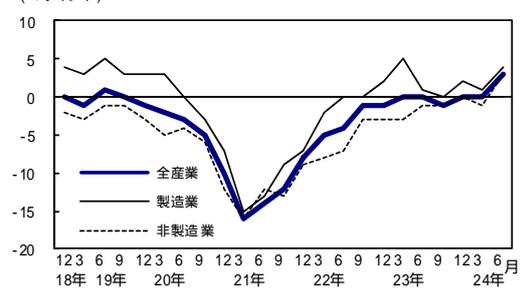
(2) 企業動向の業況判断は「悪い」超幅が横ばいとなっており、資金繰り判断は「楽である」超に転じている。

企業短期経済観測調査及び中小企業景況調査

(%ポイント) 企業短期経済観測 [業況判断]



(%ポイント) 企業短期経済観測 [資金繰り判断]



(備考)「良い」-「悪い」回答者数構成比。24年9月は予測。  
18年12月および21年12月は新・旧基準を併記。

(備考)「楽である」-「苦しい」回答者数構成比。  
18年12月および21年12月は新・旧基準を併記。

(%) 中小企業景況調査 [業況判断]



(備考)「好転」-「悪化」回答者数構成比。24年 期は見通し。  
九州(含む沖縄)地区のDI。

景気ウォッチャー調査(7月)[企業動向関連(現状)]

「今年は梅雨明けが少し遅れ、雨が多く、消費傾向に大きな影響が出た。特に一般向けは厳しい状況にある。加工向けの納品も輸入物は安定しているが、国産物の多さから思ったほど引き合いがない。居酒屋向けも長雨で客足があまり良い動きではない(農林水産業)」など、「変わらない」とする回答が多くみられた。

(3) 24年度の設備投資は、前年度を上回る計画となっている。

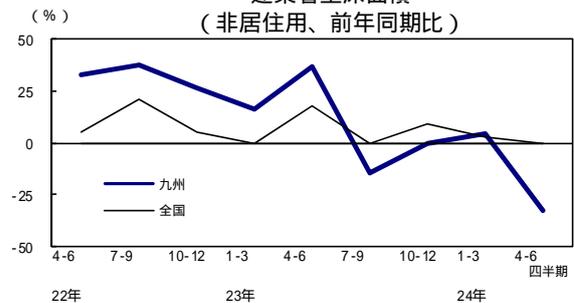
企業短期経済観測調査 [設備投資(6月調査)]

|      | (前年度比、%)     |           |
|------|--------------|-----------|
|      | 23年度実績       | 24年度計画    |
| 全産業  | 19.5 ( 0.2 ) | 5.7 (2.7) |
| 製造業  | 17.5 ( 3.3 ) | 8.4 (1.3) |
| 非製造業 | 20.4 ( 1.3 ) | 4.3 (3.4) |

(備考) 1.( )は前回(3月)調査比修正率。

2.リース会計対応ベース。

建築着工床面積 (非居住用、前年同期比)



## 2. 需要の動向

### (1) 個人消費は持ち直している。

#### 大型小売店販売額

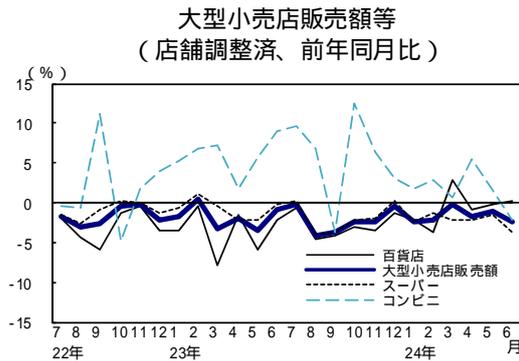
大型小売店販売額は、前年同期比で1.7%減、前期比で0.1%増となった。

百貨店は、4月は、春物衣料や飲食料品の動きが鈍かったこと等から、前年比低下幅が拡大した。5月は、惣菜、菓子、和洋酒などの飲食料品や美術・宝飾品・時計などの高額品等が好調だったこと等から、前年比低下幅が縮小した。6月は、気温が低かったこと、月後半の台風接近や梅雨前線の影響で衣料品が低調だったこと等から、前年比低下幅が拡大した。

スーパーは、住関連商品が鈍かったこと等から、前年比低下幅が拡大した。

#### 景気ウォッチャー調査(7月)[家計動向関連(現状)]

「7月の売上はクリアランスの後ろ倒しと九州北部豪雨の影響で苦戦が続き、結果昨年実績を割り込む見通しである。クリアランス自体は昨年の月初売上を上回り、また夏物定価品も堅調で手ごたえは感じている(百貨店)」など、「変わらない」とする回答が多くみられた。



|             | 23年7-9月 | 10-12月 | 24年1-3月 | 4-6月  |
|-------------|---------|--------|---------|-------|
| 大型小売店(*1)   | 2.5     | 1.6    | 1.6     | 1.7   |
| 百貨店(*1)     | 2.9     | 2.5    | 0.9     | 0.2   |
| スーパー(*1)    | 2.4     | 1.2    | 1.9     | 2.5   |
| 大型小売店(*2)   | 0.9     | 0.8    | 0.6     | 1.1   |
| (季節調整値)(*3) | ( 0.1)  | ( 0.3) | ( 1.0)  | (0.1) |
| 乗用車(*4)     | 19.4    | 22.3   | 46.5    | 75.6  |
| (季節調整値)(*4) | (29.8)  | (5.9)  | (17.9)  | (9.9) |

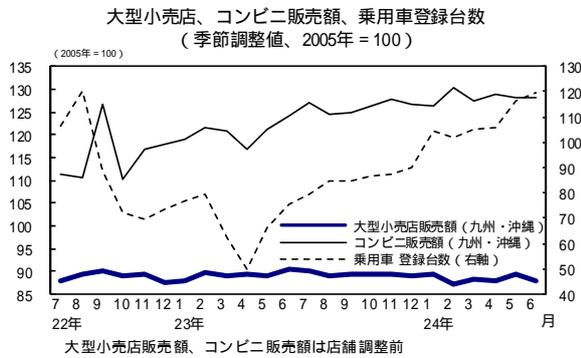
(備考) 1.九州・沖縄地区、店舗調整済、前年同期比(%)

2.九州・沖縄地区、店舗調整前、前年同期比(%)

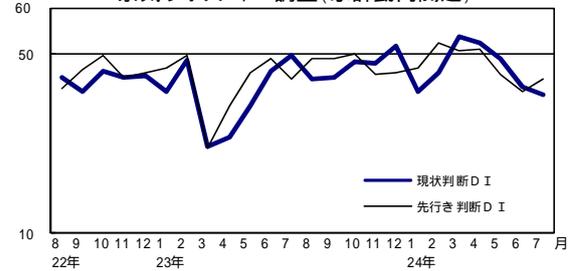
3.九州・沖縄地区、店舗調整前、前期比(%)

4.乗用車は乗用車新規登録・届出台数。

(上段：前年同期比、下段：前期比)



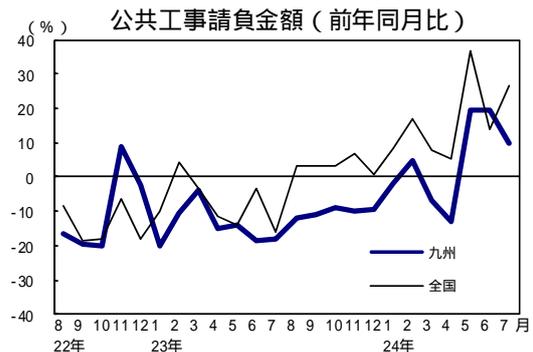
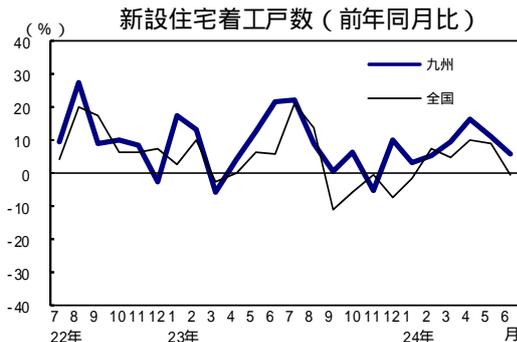
#### 景気ウォッチャー調査(家計動向関連)



### (2) 住宅建設は増加している。

持家が前年を下回ったものの、貸家、分譲が前年を上回ったことから、全体では増加している。

### (3) 公共投資は24年度累計で見ると前年度を上回っている。

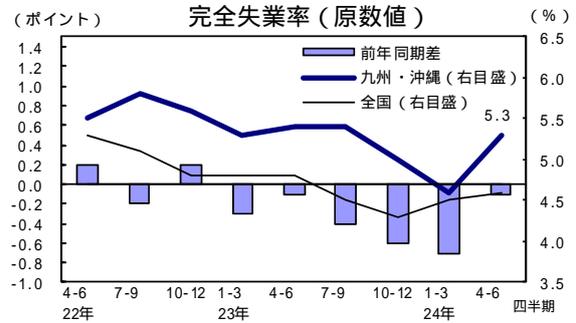
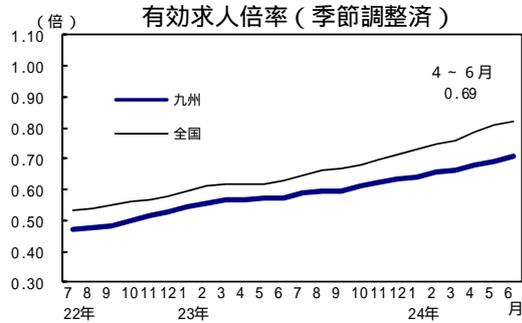


### 3. 雇用情勢等

(1) 雇用情勢は厳しい状況にあるものの、持ち直している。

有効求人倍率及び完全失業率等

有効求人倍率は上昇している。完全失業率は前年同期とほぼ同水準となっている。



景気ウォッチャー調査 (7月)[雇用関連(現状)]

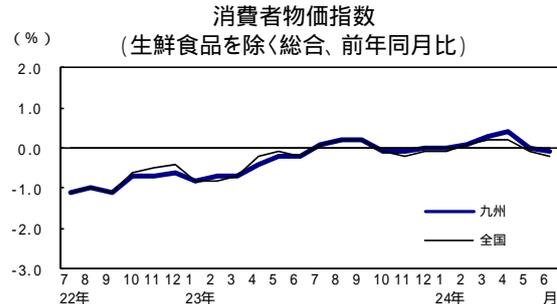
「新店のオープン等が相次ぎ、採用需要が増えている。自社ではみつからず、派遣会社に依頼する企業も多い(人材派遣会社)」など、「やや良くなっている」とする回答が多くみられた。

(2) 企業倒産は、件数はおおむね横ばいであるものの、負債総額は減少している。

(3) 消費者物価指数はおおむね横ばいとなっている。

企業倒産

|       | (件、億円、%) |        |         |      |       |
|-------|----------|--------|---------|------|-------|
|       | 23年7-9月  | 10-12月 | 24年1-3月 | 4-6月 | 24年7月 |
| 倒産件数  | 220      | 209    | 213     | 198  | 64    |
| (前年比) | 0.9      | 10.6   | 14.5    | 1.5  | 16.9  |
| 負債総額  | 411      | 267    | 354     | 554  | 81    |
| (前年比) | 7.6      | 44.4   | 10.0    | 37.5 | 42.3  |



景気ウォッチャー調査 (7月)[合計(特徴的な判断理由)]

<現状>

・エコカー補助金の終了が迫り、一部車種では受給に間に合わない状態になっている。昨年末に発売された新型車の新車効果は一段落し、今月の新車受注は低調に推移している(乗用車販売店)

<先行き>

・予約状況を見ると、海外リゾートはハワイが好調だが、アジアのリゾート地の需要が減り、全体では前年並みである。国内は九州内の旅行が大幅に減っている(旅行代理店)

